

## 目 次

<b>第1章 はじめに</b>	1
1.1 放射線の歴史	1
1.2 放射線の利用	4
1.2.1 医学利用	5
1) 診断	5
2) 治療	5
1.2.2 農業利用	7
1) 品種改良	7
2) 食品照射	8
3) 害虫駆除	9
1.2.3 工業利用	9
1) 計測応用	9
2) 機能性材料の創製	9
3) 減菌・殺菌	10
1.2.4 そのほかの利用	10
1) 環境対策	10
2) 年代測定	10
<b>第2章 安全取扱いの基礎</b>	11
2.1 放射線および放射性同位元素（RI）の基礎	11
2.1.1 原子および原子核の構造	11
2.1.2 放射性壞変	13
1) $\alpha$ 壊変	13
2) $\beta$ 壊変	13
3) $\gamma$ 線放出	15
2.1.3 放射線の種類と性質	16

1) $\alpha$ 線 .....	17	4) 安全取扱いの注意点 .....	35
2) $\beta^-$ 線と $\beta^+$ 線 .....	17	3.1.2 作業計画と準備 .....	38
3) $\gamma$ 線 .....	18	1) 実験計画 .....	38
4) X 線 .....	18	2) コールドラン .....	38
5) 中性子線 .....	19	3) 汚染対策 .....	39
<b>2.2 放射線の量と単位 .....</b>	<b>19</b>	4) 作業開始前の汚染検査 .....	40
2.2.1 放射能の単位 .....	19	5) 遮蔽材 .....	41
2.2.2 放射線量の単位 .....	20	3.1.3 放射化物の安全取扱い .....	41
1) カーマ .....	21	3.1.4 RI の取扱い上の注意事項 .....	41
2) 吸収線量 .....	21	1) 一般的な注意事項 .....	41
3) 等価線量 .....	22	2) ライフサイエンス実験における注意事項 .....	44
4) 実効線量 .....	22	3) 医学利用における注意事項 .....	46
<b>2.3 放射線の防護 .....</b>	<b>23</b>	3.1.5 汚染の評価と除去 .....	46
2.3.1 外部被曝に対する対策 .....	23	1) 汚染検査の方法 .....	46
2.3.2 内部被曝に対する対策 .....	23	2) 汚染の評価 .....	48
<b>2.4 放射線の測定 .....</b>	<b>24</b>	3) 物および身体表面の汚染除去 .....	48
2.4.1 サーベイメータ .....	24	4) 施設内運搬時の汚染発生への対策 .....	49
1) GM 管式サーベイメータ .....	24	3.1.6 RI 廃棄物の分類 .....	50
2) シンチレーション式サーベイメータ .....	25	3.1.7 管理区域外における下限数量以下の非密封 RI の使用 .....	51
3) 電離箱式サーベイメータ .....	26	3.1.8 事故事例と安全対策 .....	51
2.4.2 空間線量の測定 .....	28	<b>3.2 密封された RI の安全取扱い .....</b>	<b>52</b>
2.4.3 放射化の測定 .....	28	3.2.1 密封線源 .....	52
2.4.4 個人被曝線量の測定 .....	31	3.2.2 密封線源の種類と用途 .....	54
<b>第3章 安全取扱いの実際 .....</b>	<b>33</b>	3.2.3 日常点検 .....	54
<b>3.1 密封されていない RI の安全取扱い .....</b>	<b>33</b>	3.2.4 使用上の注意点 .....	56
3.1.1 内部被曝とその防護 .....	33	1) 破損防止 .....	56
1) 安全取扱いの 3 原則 (3C の原則) .....	33	2) ワーキングライフ .....	56
2) 内部被曝の経路 .....	34	3) 破損などの異常事態の発見 .....	57
3) 内部被曝防護の 5 原則 (3D2C の 5 原則) .....	34	4) 紛失の防止 .....	57
		3.2.5 事故事例と安全対策 .....	58

3.3 加速器の種類と特徴 .....	59	5.4.1 使用の基準 .....	94
3.3.1 直線加速装置（リニアック） .....	59	5.4.2 保管の基準 .....	95
3.3.2 サイクロトロン .....	60	5.4.3 運搬の基準 .....	95
3.3.3 加速器からの放射線 .....	62	5.4.4 廃棄の基準 .....	95
3.3.4 加速器を安全に使用するために .....	62	5.5 放射線業務従事者等の義務 .....	96
1) 被曝の低減・防止 .....	63	5.5.1 健康診断の受診 .....	96
2) 放射線安全設備の点検 .....	64	5.5.2 教育訓練 .....	97
3.3.5 放射化 .....	64	5.6 放射線障害予防規程 .....	98
3.3.6 事故事例と安全対策 .....	64	5.7 放射線取扱主任者 .....	99
<b>第4章 人体への影響 .....</b>	<b>67</b>	5.8 事故および危険時の対応 .....	100
4.1 放射線障害の歴史 .....	67	5.8.1 事故等の報告 .....	100
4.2 放射線のDNAおよび細胞への作用 .....	68	5.8.2 危険時の措置 .....	101
4.3 放射線の人体（個体）への作用 .....	71	5.9 特定放射性同位元素の防護 .....	102
4.3.1 身体的影响、遺伝性影响 .....	71	<b>付 錄 .....</b>	<b>105</b>
4.3.2 早期影响、晚発影响 .....	72	<b>索 引 .....</b>	<b>114</b>
4.3.3 確定的影响（組織反応） .....	72		
4.3.4 確率的影响 .....	74		
4.3.5 臓器・組織による放射線感受性の違い .....	76		
4.4 身の回りの放射線 .....	77		
4.4.1 自然放射線被曝と医療被曝 .....	77		
4.4.2 低線量・低線量率被曝 .....	79		
<b>第5章 法 令 .....</b>	<b>81</b>		
5.1 放射線防護と安全規則 .....	81		
5.2 放射性同位元素等の規制に関する法律の体系 .....	83		
5.2.1 放射性同位元素等の規制に関する法律 .....	83		
5.2.2 法体系とその考え方 .....	85		
5.3 定義および規制値 .....	87		
5.4 行為基準 .....	92		